

	< 月次決算 > 月次決算の作成目的は経営管理のための情報としてきわめて重要な位置づけを有する。月次決算経営管理のレベル向上のため次の点で役立つ。1) 前月に企業損益を把握し予算や計画と対比して会社経営上の問題点を検討する。2) 前月の事業美紋別、関連会社別の損益を分析し問題点を検討する3) 前月の地域別、拠点別の損益を分析し問題点を検討する。4) プロジェクト別戦略別の損益を把握し問題点を検討する。5) 企業の生産性や安定性について検討する 月次決算を迅速に行うためには、月次決算の作業予定の作成と各科目の取り決めが必要である。また、経理ソフトの操作方法を理解し迅速な管理諸表の作成が必要である。 < 年次決算 > すべての会社は期末に1年間の締めくくりとして営業活動の成果や会社の財政状態を決算書のまとめたり法人税や住民税、消費税などの申告手続きを行う。決算は事業年度内の会社の経営成績(損益の状態)と財産状態(財産の内容)を明らかにする目的で作成される。決算のための決算手続きを決算手続きと呼び予備手続き、本手続きといった一連の流れがある。予備手続きでは総勘定元帳の記載にミスがないかどうかをチェックするため試算表を作成し決算整理を行う。 決算整理とは、勘定記録を実体に合わせるために修正する手続きのことある。これは 帳簿上の計算記録に基づく期末の財産と実際の残高の照合を行い差がある時は原因を調べて修正する計算の正確性 会社の営業活動は期間と関係なく日々動いているため、ある一定の期間で人為的に区切りをつけその期間における内容の正確性 損益計算・財産計算の正確性を目的としている。決算整理事項には棚卸、現金・銀行取引照合、消耗品勘定の処理・減価償却費の計上および各種引当金の計上繰延資産の計上などがある。次にこれらを整理するため精算表と呼ばれる一覧表を作成し帳簿をしめる。これを本手続きという。精算表から貸借対照表や損益計算書の書式にまとめ決算書ができる。 決算の結果、会社が利益を上げた場合には、会社が納める法人税や法人税法税を控除した後の利益(当期末処分利益)は 法律で定められた準備金(法定準備金) 内部に留保する利益を適性に配分する。なお、医療法人は剰余金の配当が禁止されている(医療法第54条)。これらの配分をどうするかは、法人としての案を利益処分案にまとめ、決算後に開催される定時理事会の承認を得てはじめて確定される。 損失がでた場合は前期から繰越している利益がある、あるいは損失を補填するのに十分な内部保留ある場合は利益処分となる。ただしこうした手続きを踏んでもなお損失がこの場合には法人は損失処理案を作成し理事会の承認を得る必要がある。尚、損失を翌期に繰り越す場合には、翌期の利益から補填することができる。 < 決算報告 > 医療法人は毎会計年度終了後2ヶ月以内に決算を行い財産目録、貸借対照表、損益計算書を作成し監事の監査を受け理事会の承認を得て都道府県知事へ提出しなければならない。決算書は監事の監査を受け、監事が署名捺印をすること。議事録は理事長の原本と相違ない旨の証明が必要である。
例題	流動資産と固定資産の分類法の1年基準(ワンイヤー・ルール)について説明しなさい

解答	貸借対照表作成日の翌日から起算して、1年以内に現金化または費用として流出する資産を流動資産とし、それ以外の資産を固定資産と分類する。																																																										
例題	下記左の資料はT医療法人のH14.年4月1日からH15年3月31日までの内容である。これを参考に、右の損益計算書を完成させなさい。 <table border="1"> <tr><td>医業収益</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>材料費</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>経費</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>本部経費</td><td>500</td></tr> <tr><td>医業外収益</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>医業外費用</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>法人税等</td><td>500</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="2">損益計算書</th></tr> <tr><td colspan="2">自平成14年4月1日</td></tr> <tr><td colspan="2">至平成15年3月31日</td></tr> <tr><td>医業収益</td><td></td></tr> <tr><td>給与費</td><td></td></tr> <tr><td>材料費</td><td></td></tr> <tr><td>経費</td><td></td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td></td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td></td></tr> <tr><td>本部経費</td><td></td></tr> <tr><td>医業損益</td><td></td></tr> <tr><td>医業外収益</td><td></td></tr> <tr><td>医業外費用</td><td></td></tr> <tr><td>経常損益</td><td></td></tr> <tr><td>特別利益</td><td></td></tr> <tr><td>特別損失</td><td></td></tr> <tr><td>税引前当期利益</td><td></td></tr> <tr><td>法人税等</td><td></td></tr> <tr><td>当期純利益</td><td></td></tr> </table>	医業収益	100,000	給与費	10,000	材料費	5,000	経費	15,000	研究研修費	1,000	減価償却費	2,000	本部経費	500	医業外収益	2,000	医業外費用	1,000	法人税等	500	損益計算書		自平成14年4月1日		至平成15年3月31日		医業収益		給与費		材料費		経費		研究研修費		減価償却費		本部経費		医業損益		医業外収益		医業外費用		経常損益		特別利益		特別損失		税引前当期利益		法人税等		当期純利益	
医業収益	100,000																																																										
給与費	10,000																																																										
材料費	5,000																																																										
経費	15,000																																																										
研究研修費	1,000																																																										
減価償却費	2,000																																																										
本部経費	500																																																										
医業外収益	2,000																																																										
医業外費用	1,000																																																										
法人税等	500																																																										
損益計算書																																																											
自平成14年4月1日																																																											
至平成15年3月31日																																																											
医業収益																																																											
給与費																																																											
材料費																																																											
経費																																																											
研究研修費																																																											
減価償却費																																																											
本部経費																																																											
医業損益																																																											
医業外収益																																																											
医業外費用																																																											
経常損益																																																											
特別利益																																																											
特別損失																																																											
税引前当期利益																																																											
法人税等																																																											
当期純利益																																																											
解答	<table border="1"> <tr><th colspan="2">損益計算書</th></tr> <tr><td colspan="2">自平成14年4月1日</td></tr> <tr><td colspan="2">至平成15年3月31日</td></tr> <tr><td>医業収益</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>給与費</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>材料費</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>経 費</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>研究研修費</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>本部経費</td><td>500</td></tr> <tr><td>医業損益</td><td>66,500</td></tr> <tr><td>医業外収益</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>医業外費用</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>経常損益</td><td>67,500</td></tr> <tr><td>特別利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>特別損失</td><td>0</td></tr> <tr><td>税引前当期利益</td><td>67,500</td></tr> <tr><td>法人税等</td><td>500</td></tr> <tr><td>当期純利益</td><td>67,000</td></tr> </table>	損益計算書		自平成14年4月1日		至平成15年3月31日		医業収益	100,000	給与費	10,000	材料費	5,000	経 費	15,000	研究研修費	1,000	減価償却費	2,000	本部経費	500	医業損益	66,500	医業外収益	2,000	医業外費用	1,000	経常損益	67,500	特別利益	0	特別損失	0	税引前当期利益	67,500	法人税等	500	当期純利益	67,000																				
損益計算書																																																											
自平成14年4月1日																																																											
至平成15年3月31日																																																											
医業収益	100,000																																																										
給与費	10,000																																																										
材料費	5,000																																																										
経 費	15,000																																																										
研究研修費	1,000																																																										
減価償却費	2,000																																																										
本部経費	500																																																										
医業損益	66,500																																																										
医業外収益	2,000																																																										
医業外費用	1,000																																																										
経常損益	67,500																																																										
特別利益	0																																																										
特別損失	0																																																										
税引前当期利益	67,500																																																										
法人税等	500																																																										
当期純利益	67,000																																																										
例題	決算書のできるまでの流れを述べなさい																																																										

解答	総勘定元帳→試算表を作成する→決算整理を行う→精算表を作成→帳簿を締める→貸借対照表・損益計算書
例題	決算時の整理事項について必要な項目について述べなさい
解答	棚卸、減価償却、現金過不足の振替、有価証券の評価替、費用・収益の見越し・繰延べ、消耗品勘定の処理引当金の設定、貸倒引当金の設定、その他引当金などの設定、など
例題	決算整理時における棚卸について説明しなさい
解答	期末棚卸しによる商品や製品の在庫数量の確認ならびにその評価を行う。 期首商品棚卸高、当期商品仕入高、期末商品棚卸高をそれぞれ求めて算出する。

